少　　林　　寺　　拳　　法　　競　　技　　要　　項

令和６年度

**１【期日・時間**

５月１９日（日）　　　　　　　　９：３０ ～（開会式）

１０：００ ～（競技開始）

**２【会　　場】**

　高知工業高等学校　武道場　（体育館１階）

**３【種　　目】**

組演武、単独演武、団体演武

**４【競技規定】**

全国高等学校少林寺拳法大会規則並びに（一財）少林寺拳法連盟の定める競技規則及び審判規則に基づき行う。

**５【競技方法】**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 男　子　の　部 | 女　子　の　部 | 演武時間 |
| 種　　目 | 人数 | 構成 | 種　　目 | 人数 | 構成 |
| 組演武 | ２名 | 競技Ⅰ | 組演武 | ２名 | 競技Ⅰ | １分３０秒～２分００秒 |
| 競技Ⅱ | 競技Ⅱ | 時間制限なし |
| 単独演武 | １名 | 自由 | 単独演武 | １名 | 自由 | １分００秒～１分３０秒 |
| 団体演武 | ６名 | 規則 | 団体演武 | ６名 | 規則 | １分３０秒～２分００秒 |

（１）選手は武階に応じた６構成からなる演武を定められた時間内に行い、審判規則による得点で優劣を競う。ただし、演武者が「見習い・６級・５級・４級」の場合は３級科目まで、「３級・２級・1級」の場合は初段科目までの技が使用できる。

（２）組演武は令和５年度全国大会（夏）に準じて行う。競技Ⅰは、全国大会における予選競技Ⅰ（自由組演武）とする。競技Ⅱは、全国大会における予選競技Ⅱ（防具を着用した規定組演武）であり、着用する防具は、少林寺拳法公認のボディプロテクター(二重構造の胴)、ヘッドガード、拳サポーター、ファールカップ(二重構造のもの：男子のみ)とし、構成は次の６構成とする。詳細は「組演武予選競技Ⅱについて」を参照のこと。

１．燕返　連反攻 ２．蹴天三　連反攻 ３．上受突(表)　連反攻

４．横転身蹴　連反攻 ５．払受蹴　連反攻 ６．外受突(裏)　連反攻

（３）団体演武は、(一財)少林寺拳法連盟の定める競技規則により１・６構成目については単独演武とし、２～５構成目については相対演武とする。１・６構成目については、次の単演基本形から選ぶこととする。

　　　天地拳第１～６系　　義和拳第１・２系　　龍王拳第１・３系

　　　龍の形（逆小手）　　紅卍拳　　白蓮拳第１系

**６【参加資格】**

（１）高知県高等学校体育大会一般要項に従う。

（２） (一財)少林寺拳法連盟の令和６年度登録済みのものであること。但し、登録とは所属先の団体登録（更新）・個人登録（更新）をいう。

**７【参加制限】**

（１）団体演武は各校１チームとし、補欠は２名まで可とする。

（２）組演武・団体演武の３人掛け及び男女の混合は認めない。

（３）組演武・団体演武とも、同一校に在籍する生徒とし、組演武・単独演武は１人１種目とする。ただし、団体演武と組演武、団体演武と単独演武は重複しての出場は可とする。

**８【表　　彰】**

（１）団体、個人とも種目の第１位、第２位、第３位までとする。

**９【その他】**

（１）全国ＩＨの出場権は、県体で各種目上位から組演武２組、単独演武２名、団体演武１組が出場権を得る。

（２）四国大会の出場権は、組演武・単独演武は各種目上位から順に、組演武・規定組演武については各種目６組、単独演武・規定単独演武については各種目６名が、団体演武は上位から２組が得る。ただし、規定組演武・規定単独演武については段外者に限る。

（３）本大会ではゼッケンを使用しない。ただし、四国大会・全国ＩＨにおいてはそれぞれ規定のゼッケンが必要となる。

（４）部長・監督・引率者会議および審判会議は、５月１９日（日）９：００より大会会場で行う。

（５）問い合わせ先

高知工業高等学校　中村文香

TEL　０８８－８３１－９１７１

Email　fumika7923@g.kochinet.ed.jp